

千葉市新基本計画区基本計画(原案)に対する意見【区計画部会】(第1回区計画部会におけるご意見)

資料2

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
1	依田委員	全体	市基本計画(以下「市計画」という。)と区基本計画(以下「区計画」という。)の関係・関連性について、市計画と区計画は別々のものなのか、市計画は区計画を包含するものなのか。また、区計画には、区が独自に関係するもの、いくつかの区に共通するもの、全体に関係するものが混在して書いてあるということなどを、区計画の冒頭に記述してほしい。	1(1)
2	西山委員	全体	市全体の計画の中での区計画の位置付け・関係が気になるので、区計画の冒頭に、区計画の概要版のようなものを示してほしい。	1(1)
3	上関委員	全体	区計画は元は市計画があり、区としてどう進めていくかが、予算や人材の面も含めて、区がどう実行していけるか疑問だ。例えば、花見川区にはここ何十年も交通の不便な地域があるなか、施策の展開「3 安全と安心が花ひらくまち」の中で、「公共交通網の利便性を確保し」のように利便性を図ると書いているが、実際に区としてどう実行していけるのか。	1(1)
4	黒岩委員	全体	区計画は区の特性を活かしながら、区民であると同時に市民でもあるという、トータルイメージを持つことができるよう、市計画との整合性を持たせるとよい。	1(1)
5	西山委員	全体	全体的に区を持つ特徴が、市計画と区計画の役割分担としてどう位置付けられるかを整理すれば、より一層、区の計画が生きてくる。例えば、都市と農村との交流について、若葉区が他区に先駆けてどのような先進的取組みを行っていくかを位置付け、整理されれば、それが若葉区の特徴につながる。	1(2)
6	黒岩委員	全体	各区の特徴を市全体の中での役割分担として位置付けるとわかりやすい。例えば、花見川区や若葉区は市内でも高齢化が進んでいるので、「高齢化のモデル」として設定し、そこで得たノウハウを、各区に提供したり、そこで育ったボランティアが他区で交流するといったことが大切だ。	1(2)
7	黒岩委員	全体	市計画では市民主体のまちづくりや市民の底力を強調しており、今後、重要になってくると思うので、市民主体のまちづくりを行うため、うちの区ではこうやるというように、各区が特性に合わせて区民の力をどう引き出していくかを明確にするとよい。	1(3)
8	西山委員	全体	中央区と稲毛区の計画では、いろいろな人の具体的な活動がある前提で作られていることが見えるが、若葉区や緑区、美浜区においては、具体性に欠けると感じる。	1(6)
9	御園委員	全体	区計画は大綱化されているため、文言の背後にあるものが見えづらい。もう少し、施策の内容などを詳細に示すとわかりやすい。	1(6)
10	金谷委員	全体	ごみを減らす取組みについて区ごとに推進する話や、学校でのいじめについて、PTAや父母が対応するのか、地域コミュニティがある程度関与していくべきなのかなどについて、もう少し記述したほうがよい。	1(7)ア 1(7)イ
11	上関委員	全体	緑区や美浜区には新住民が多く、通勤や通学も東京に行っている人が多いなど、千葉市民という意識があまりない方がいるという話を聞いたことがある。そのような方たちにも、地域のコミュニティづくりの場に参加してもらおう取組みが必要ではないか。	1(7)オ
12	岡本委員	全体	「区の概況」の「人口・世帯数の見通し」に記載のある数値など、各区の書き方やフォームが市計画と整合を図っているといった前提条件について、区計画のはじめに記述してあると、区民にとって分かりやすい。	1(1)
13	細谷委員	全体	「区の概況」の地域資源については、自然的資源と社会的資源があるので、それらを区ごとに示す必要がある。 医療や福祉、教育、防災関係など、ソフト・ハード両面で、最低限、区で持つべき資源が何であり、それに対して各区の現状がどうなっているかがみえて初めて、区で足りないものは何か、ここはこうすべきではないかということになる。 そういう意味では、表「人口・世帯数の見通し」に示される平成17年や27年の数値からは、平成22年現在の現状が見えてこないため、現状分析がされているのか疑問に感じた。	1(5)
14	岡本委員	全体	「区の将来像」から「施策の展開」まで、時間的スパンに関する記述がない。年度の目標を記述すると今後の社会経済情勢の変化などへの機敏な対応が困難となることも想定されるが、区民から見ると、計画の内容がいつ達成されるかとの期待もあると思うので、可能な限り、記述できるとよい。	1(4)
15	池田委員	全体	新たな区計画を作るにあたり、現行の区ビジョンにおいて、どのような施策が打ち出され、その結果がどうあったのか、どのような積み残しや課題があったかの検証が見えてこない。	1(5)
16	池田委員	全体	市計画との整合性について、予算面も含めて、区の裁量や権限がどの程度のものなのかが分からないと、施策を打ち出す場合にも限界があるのではないかと。	1(1)
17	池田委員	全体	区の特性を活かした施策においては、観光面で全国からお客さんを呼ぶことができるような、アピール性のある元気の出る施策が位置付けられているとよい。 ある程度、具体性のある、市民からみて分かりやすい記載の方法や施策の展開が必要である。	1(6)
18	岸岡委員	全体	施策の展開で、取組みの手立てや仕組み、やり方についてももう少し踏み込んで記述してもらいたい。	1(6)
19	斉藤委員	全体	JAで訪問介護事業を行っているが、核家族化が進み、居宅介護だけでは支え切れず、施設介護の必要性が高まっている。豊かな老後の生活のため、施設介護について、各区の計画に記述してもらいたい。	1(7)ウ
20	金谷委員	中央	「施策の展開」の「3 千葉の顔としての魅力ある中央区をつくる」に、千葉の顔としての取組みや区民文化などが記述されているが、視点が狭いと感じる。県や市を代表している区の視点から記述した方がよいのではないかと。	2(2)ア
21	金谷委員	中央	「施策の展開」の「4 活力と賑わいに満ちた中央区をつくる」も市の顔として施策なので、そうした視点を入れる必要がある。	2(2)ア
22	金谷委員	花見川	花見川周辺は随分、整備されてきているが、サイクリングロードの河川側はきれいではない。子どもたちが裸足で川に入れるような水質改善や、岸辺の整備について、生活排水を出さないといった身近な取組みや、生物多様性や水辺の緑・魅力などの視点から10年計画で粘り強く目指すような記述があってもよい。	3(2)ア

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
23	斉藤委員	若葉	「現状と課題」の「3 産業」について、豊かな自然を維持するために、市民農園・観光農園の充実だけで実現できるか疑問なので、10年後に実現可能な農業の将来や、豊かな自然を維持する方を具体的に記述してもらいたい。	5(1)エ(ア)
24	西山委員	若葉	「施策の展開」の「1-(1)多様な主体の連携強化」に、「まちづくりに対する意識の向上を図ります」との記述があるが、具体的な例示がほしい。	5(1)ア(ア)
25	西山委員	若葉	「施策の展開」の「1-(1)多様な主体の連携強化」における、「多様な世代の参画」についても、例えば、区ではこういう取り組みがあり、そうしたものを念頭に置いているというような、具体的な例示がほしい。	5(1)ア(イ)
26	西山委員	若葉	「施策の展開」の「3-(3)地域経済の活性化」について、大学との連携は、地域経済の活性化に特化した取り組みではない。地域経済の活性化に限定して、大学との連携に重点を置くのであれば、コミュニティビジネスなど具体的な例示がほしい。	5(1)ウ
27	金谷委員	美浜	「施策の展開」の「1 海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり」における、ウォーターフロントや海辺を活かす話については、市として相当充実させていく必要がある。区の所掌を超える話になるが、例えば、美浜区の海辺に行ったときに駐車場の営業が午後5時で終了する場合があったり、周辺に飲食施設がないことなど、他区在住の市民や市外からの訪問者への配慮があまりない。そういう意味では、美浜区基本計画は、区民のための海辺という視点で書かれていると感じる。	7(1)ア(ア)
28	東委員	美浜	「施策の展開」の「4-(4)多様な人材の育成」について、地域の様々な活動の担い手として、高齢者や子どもが位置付けられることが多いが、地域に住んでいるのは高齢者と子どもだけではないので、他の世代の市民がどう生活しているのかという視点があるとよい。	7(1)イ
29	金谷委員	美浜	「施策の展開」の「美浜区の個性を高める2つの取組み(2)幕張新都心の魅力の向上と活用」について、研究開発型企業など、千葉を代表する企業群との関係が重要だ。「現状と課題」では、そうした企業との相互理解や支えあいなどがよく記述されているので、「施策の展開」においても、地元と企業がつながりを深め、お互いが親しみを持てるような形の記述にすべきである。企業からみても幕張新都心は魅力があると思わせることが重要である。	7(1)ウ(ア)
30	金谷委員	美浜	「施策の展開」の「美浜区の個性を高める2つの取組み(2)幕張新都心の魅力の向上と活用」について、幕張メッセで実施されるイベントには面白いものも多く、それらを宣伝することは、観光も含めて相乗効果があるので、そのあたりをもう少し表現したほうがよい。	7(1)ウ(イ)
31	金谷委員	中央、美浜	「施策の展開」について、防災、特に地震に関しては、中央区や美浜区は埋立地ということもあるので、地盤や津波の話について、防災訓練があったときにどうするかなどの記述があるとよい。	8
32	岸岡委員	稲毛、若葉、緑	「施策の展開」について、稲毛区、若葉区で自然環境について位置付けているが、もう一步踏み込んで記述してもらいたい。自然環境全体の中で、里山は稲毛区や若葉区、緑区に多いが、それをどう活かしていくかの取組みについて、もう少し踏み込んでもらいたい。	9

No.	委員名	該当区	意見	答申(案)たたき台への反映
①	重村委員	全体	花見川区や美浜区の団地など、エレベーターが未設置の場合など高齢者や障害者の方には大変である。低層の戸建て住宅の多い地区の町内自治会では、高齢者対策が活発に行われていることが多く、稲毛区の長沼町など、お年寄りの会を開催し、皆が励まし合っている実情がある。	記載しない (事例紹介)
②	小河原委員	全体	市計画があって、そのなかの具体的なものを記述したものが区計画だとすると、市計画が固まっていない段階で、どこまで区計画に落とし込んでいいのか明確でない。区計画が一人歩きする恐れはないか。	記載しない (感想)
③	伊勢田委員	全体	ごみや防災などの問題に対し、町内自治会が行政活動の一端を担っている現状があるが、町内自治会の活動は区によって違いがあり、学校や病院、福祉施設なども構成員とするコミュニティづくり懇談会など地域全体の力を借りないと、地域課題への対応が難しくなっている。一方、このコミュニティづくり懇談会についても活動が形骸化している地区がある。市として今後、コミュニティづくり懇談会について、どのような対応を考えているか。	記載しない (質問)
④	岡本委員	全体	市計画を具体化するときには、各区がどのような要望を持ち、どのような政策にプライオリティを付けているかを判断して、各年度の計画を作ると思うので、区の所掌を超える内容であっても区計画に位置付けているのは良いことである。	記載しない (原案どおりでよいとの意見)
⑤	御園委員	全体	子どもの育ちの中で、社会的養護や虐待が疑われる子どもが増えてきており、市児童相談所も対応が難しい状況である。こうした中、子どもや地域の福祉施設が頼ることができるのは、区役所となる。区役所にも児童虐待などに関する窓口があることが、分かるようになってきているとよい。	記載しない (具体的取組みに関する意見)
⑥	小河原委員	全体	美浜区には、「美浜区の個性を高める2つの取組み」が独自に位置付けられているが、他の区でもこのようなことを記述したかったのではないか。	記載しない (感想)
⑦	長島委員	花見川	「現状と課題」の「4 こども・高齢者～少子超高齢化への対応」に、少子超高齢化への対応が書かれているが、5階建て団地に住んでいる高齢者の問題への対応については、ぜひ市でも取り組んでもらいたい。都市再生機構では、団地に住む車椅子の高齢者の方向けに、団地のベランダ側に住戸へのアクセスのバリアフリー化を図る改修などを行っている。こうした高齢者にやさしい地域づくりを市でも取り組んでもらいたい。	記載しない (事例紹介)
⑧	東委員	美浜	「施策の展開」の「4- (4) 多様な人材の育成」について、今後、地域のためにやりがいを持って活動したい、と考える若い世代は多いと思う。子どもを育てる、預けられるという関係だけでなく、若い世代が地域で子育てをしながら、地域の課題を解決する活動を「仕事」としていける仕組みがあれば、それが地域の魅力の一つとなる。	記載しない (感想)
⑨	東委員	美浜	美浜区の「施策の展開」に位置付けのある、「多様な人材の育成」や「子育てを応援する団地づくり」といった施策を推進していただきたい。	記載しない (感想)